



下妻市立 下妻小学校



みんなでつなぐ笑顔と絆 未来へ羽ばたけ下妻小
地域に支えられて150年

令和5年.11.22

下妻市立下妻小学校

学校便り

11月 臨時号

『創立150周年記念式典を開催』

校長 三谷 定幸

令和5年11月18日(土)、下妻市立下妻小学校150周年記念式典を開催しました。この日において、令和4年度より「創立150周年記念事業実行委員会」を組織し、司代直樹実行委員長を中心に、2年間準備を進めてきました。

児童たちは「みんなでつなぐ笑顔と絆 未来へ羽ばたけ下妻小」という下妻小の未来に向けたメッセージを込めたテーマを掲げました。実行委員会では「地域に支えられて150周年」というテーマを掲げ、地域で本校を支えていただいた方々への感謝のメッセージを込めた式典としました。

当日はこれまで学校を支えていただいた、たくさんの来賓の方々のお出席のもと、地域の温かい応援をいただき、素晴らしい式典となりました。参加された全ての方に感謝したいと思います。今後も下妻小学校、そして本校児童の応援をよろしくお願いします。

=来賓祝辞=

下妻市長菊池博様から下妻小学校の創立から現在までの歴史や地域の方々の支えがあることで学校教育が成り立っているとお話がありました。



祝辞 下妻市長 菊池 博様

=感謝状贈呈=

日頃からお世話になっている見守りボランティア、読み聞かせふくろうの会、クラブ活動の講師の先生に感謝状の贈呈式を行いました。6年生の代表児童がお世話になっている皆様に感謝の思いを込めて感謝状を渡しました。



見守りボランティア・読み聞かせ・クラブ講師の皆様

=卒業生の思い出語り=

昭和から平成までの卒業生代表の方が在校中の思い出を話してくださいました。

昔は木造校舎だったことや給食が始まった頃の話、下妻小学校が火事になった話など子供たちが知らない下妻小学校と当時の子供たちの様子を聞いて、児童はとても驚いていました。



昭和 20 年代の卒業生



昭和 50 年代の卒業生



平成 10 年代の卒業生

=アンサンブル演奏・お囃子・応援団エール=

下妻 AILE のアンサンブル、大町地区お囃子の演奏、下妻一高の応援団エール、たくさんの地域の方に式典を盛り上げていただきました。子どもたちは、笑顔で音楽や太鼓のリズムに合わせて体を動かしたり、初めて聞く応援団のエールの振りをまねしたりして楽しんでいました。



下妻吹奏楽団AILE・大町地区お囃子・下妻一高応援団

=式典第2部 壁画披露・バルーンリリース=



=150周年記念壁画の紹介 下妻小学校企画委員会=

<児童代表による壁画紹介の概略>

はじめに、創立150周年を記念して私たち児童全員で何か出来ないかを考えました。そこで、私たちの絆の証と、学校への感謝の気持ちを残したいと思い壁画を制作しました。

左のピンク色の木は、春に校庭を彩る桜の木と校舎。夏に緑の大きな葉をつける、下のグラウンドにある大きな木を描きました。下の緑色のラインは 水田に囲まれた下妻の大地をイメージ、そして水色のラインは、砂沼や鬼怒川、小貝川 水の豊かな下妻への思いをあらわしました。桜の木は6本あり 左から順に1年生から6年生の木になっています。手にピンク色の塗料をつけてピンク色の花を咲かせたり、大樹に緑の葉を塗ったりしました。最後に虹は、未来への羽ばたきと、次の創立200周年につながるように思いを込めて描きました。みんなで協力しながら、学校や地域の皆様へ感謝の気持ちを込めて塗りましたので、ご覧ください。



壁画制作の様子



壁画披露・テープカットの様子



バルーンリリースの様子